

業界イメージレポート2019

－ホテル・旅館編－

業界イメージレポート2019－ホテル・旅館編－ とは

「業界イメージレポート2019」は、特定の業界に対してもっているイメージについて、個人に調査した結果をまとめています。本レポートはホテル・旅館業を対象としたものです。

調査対象は4セグメントに分かれます。ホテル・旅館で現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、ホテル・旅館での就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。

ホテル・旅館業界全体に共通する魅力、より高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
A. 就業者と B. 離職者	3
正社員と正社員以外	5
C. 意向者と D. 非意向者	7

調査概要

- ・調査名：特定業種に関する調査2019
- ・調査目的：求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間：2019年3月27日（水）～3月31日（日）
- ・調査対象：20～59歳までの男女（全国）
 - －現在、対象業種に従事している人
 - －過去に対象業種に従事したことがある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象はホテル・宿泊の、計800人。

	就業経験者		就業非経験者		(人)
	A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者	
コンビニエンスストア	200	200	200	200	
アパレル・雑貨販売	200	200	200	200	
飲食店	ファーストフード	200	200	200	200
	居酒屋	200	200	200	200
ホテル・旅館	200	200	200	200	
介護サービス	200	200	200	200	
ドライバー	400	400	400	400	
警備	200	200	200	200	
倉庫内作業・仕分け	200	200	200	200	

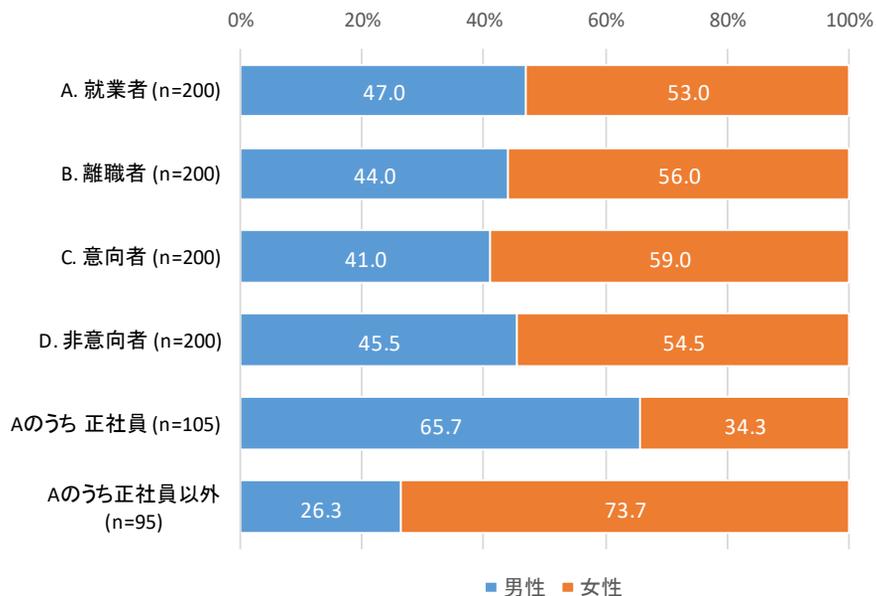
※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。各セグメントで男女が4～6割前後となっている。

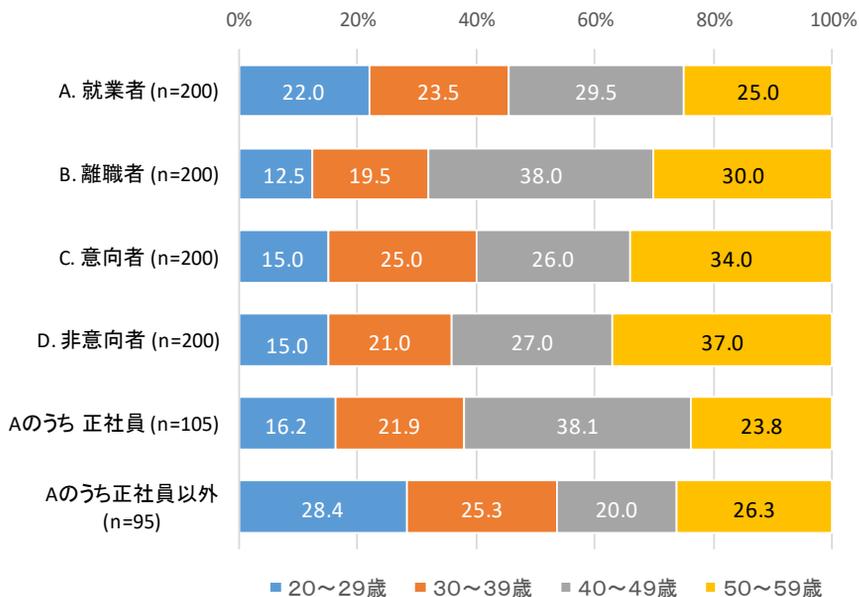
A. 就業者のうち、正社員*1をみると、男性が6割超、正社員以外*2では女性が7割超で差がみられる。



■ 年齢

回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。A. 就業者は40代が29.5%でもっとも多く、次いで50代が25.0%。40代、50代で半数以上を占めている。

A. 就業者のうち、正社員では40代、正社員以外では20代の割合が最も高い。



*1 自営業者などを含む。

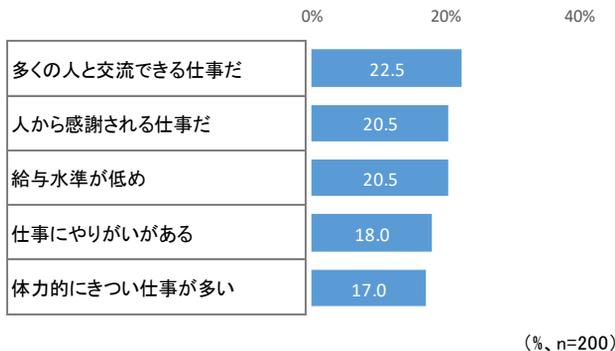
*2 パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。なお、学生アルバイトは正社員以外のうち6.3%。

業界イメージ 1

A. 就業者と B. 離職者

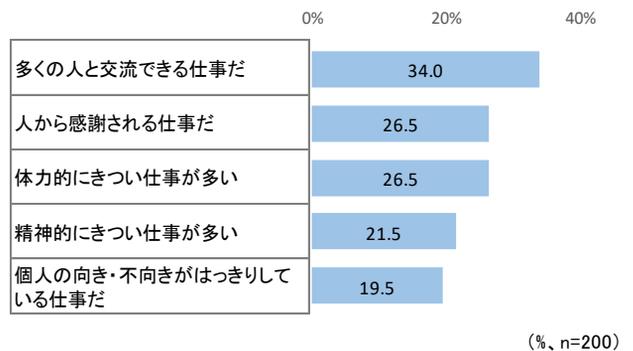
■ A. 就業者の上位5項目

現在就業者にホテル・旅館のイメージを聞くと、「多くの人と交流できる仕事だ」「人から感謝される仕事だ」「仕事にやりがいがある」とポジティブなものが上位にあがった。ただし「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」も上位になった。



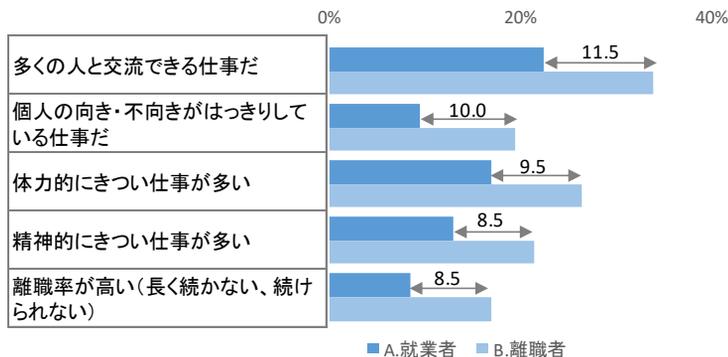
■ B. 離職者の上位5項目

過去にホテル・旅館で働いていた離職者がもつイメージは、「多くの人と交流できる仕事だ」「人から感謝される仕事だ」「体力的にきつい仕事が多い」など。離職者の方がポジティブな面もネガティブな面も強く感じているようだ。



■ A. 就業者と B. 離職者のギャップが大きい5項目

両者のギャップが大きい項目を見ると、「多くの人と交流できる仕事だ」「個人の向き・不向きがはっきりしている仕事だ」「体力的にきつい仕事が多い」「精神的にきつい仕事が多い」「離職率が高い(長く続かない、続けられない)」で、いずれも離職者の方が割合が高い。



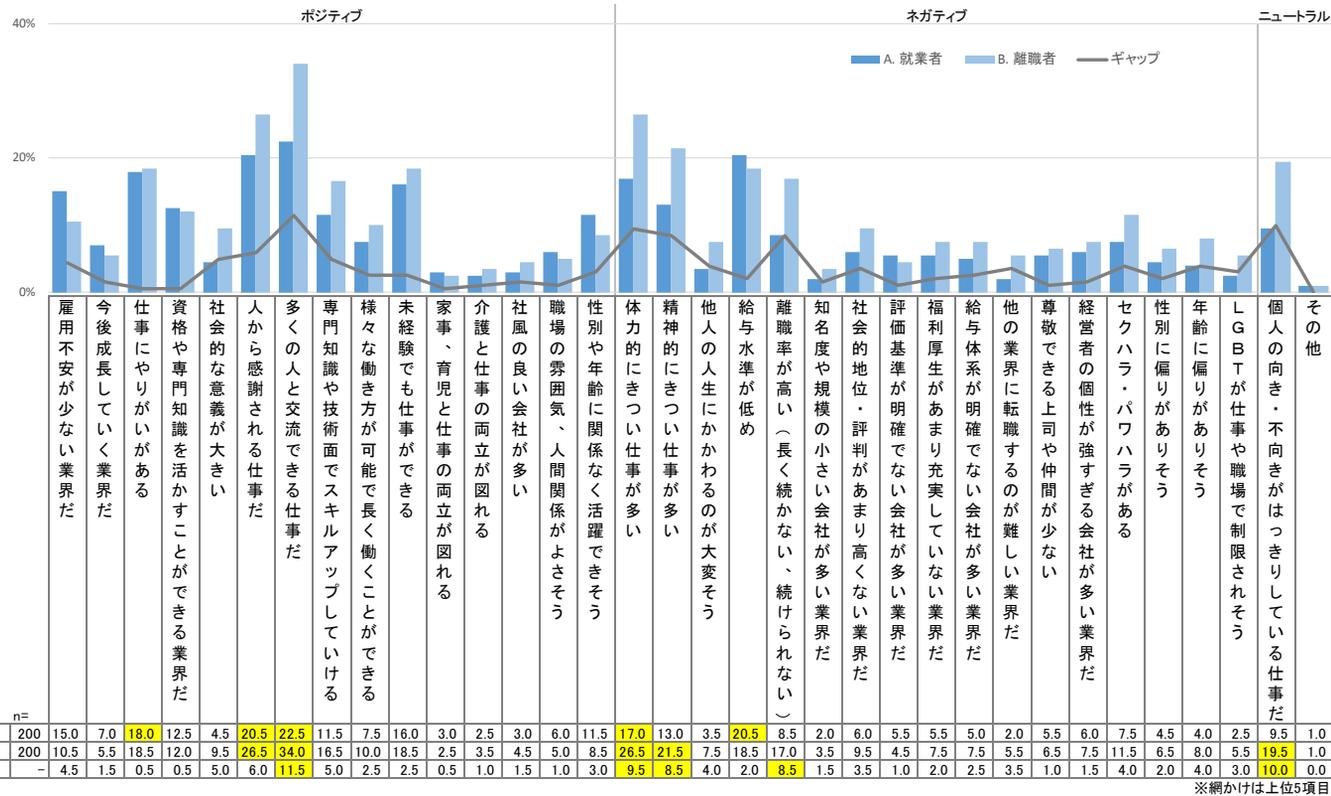
A. 就業者と B. 離職者

ホテル・旅館業界についてどのようなイメージをもっているか、現在ホテル・旅館で働いている就業者と、過去にホテル・旅館で働いていた離職者に聞いた。

現在就業者にホテル・旅館のイメージを聞くと、「多くの人と交流できる仕事だ」「人から感謝される仕事だ」「仕事にやりがいがある」とポジティブなものが上位にあがった。ただし「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」も上位になった。

離職者も就業者と同じく、「多くの人と交流できる仕事だ」がもっとも多く、「人から感謝される仕事だ」がそれに続く。「体力的にきつい仕事が多い」も就業者と共通して上位にあがっている。

両者のギャップをみると、「多くの人と交流できる仕事だ」が離職者の方が割合が高いが、一方で「体力的にきつい仕事が多い」や「精神的にきつい仕事が多い」も離職者の方が高い。離職者はホテル・旅館の仕事に意義を感じていなかったわけではないが、体力的・精神的に働き続けるのが難しいと感じていたと考えられる。



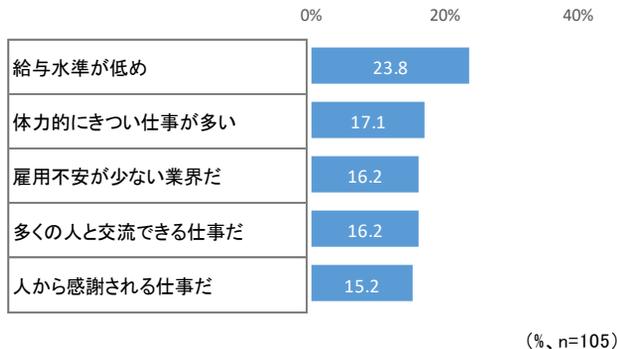
【A. 就業者、 B. 離職者】

Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／ホテル・旅館の仕事（複数回答）

業界イメージ 2 正社員と正社員以外（A. 就業者）

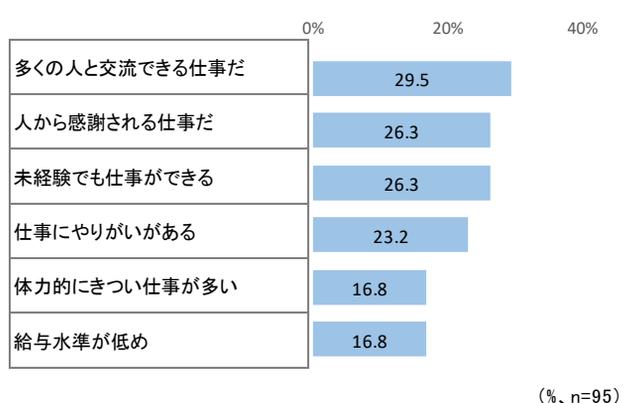
■ 正社員の上位5項目

正社員がもつイメージは、「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」といったネガティブなものがまず上位になっている。しかし、「多くの人と交流できる仕事だ」などポジティブなものもあがった。



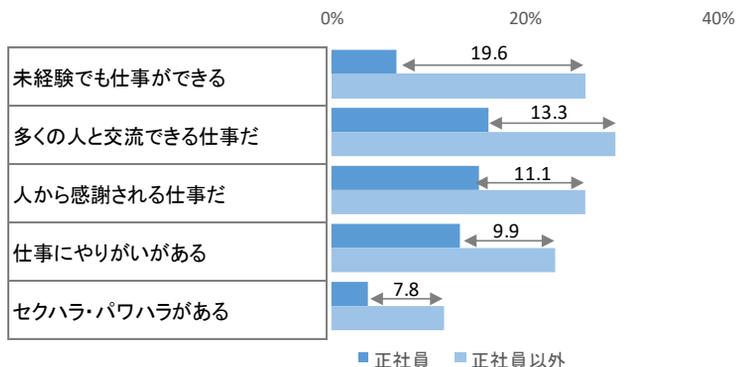
■ 正社員以外の上位5項目

「多くの人と交流できる仕事だ」「人から感謝される仕事だ」「仕事にやりがいがある」などポジティブなものが上位にあがった。ただし、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」などネガティブなものもあがった。



■ 正社員と正社員以外のギャップが大きい5項目

「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」「人から感謝される仕事だ」「仕事にやりがいがある」はいずれも正社員以外の方が割合が高い。一方で、「セクハラ・パワハラがある」も正社員以外の方が割合が高い。

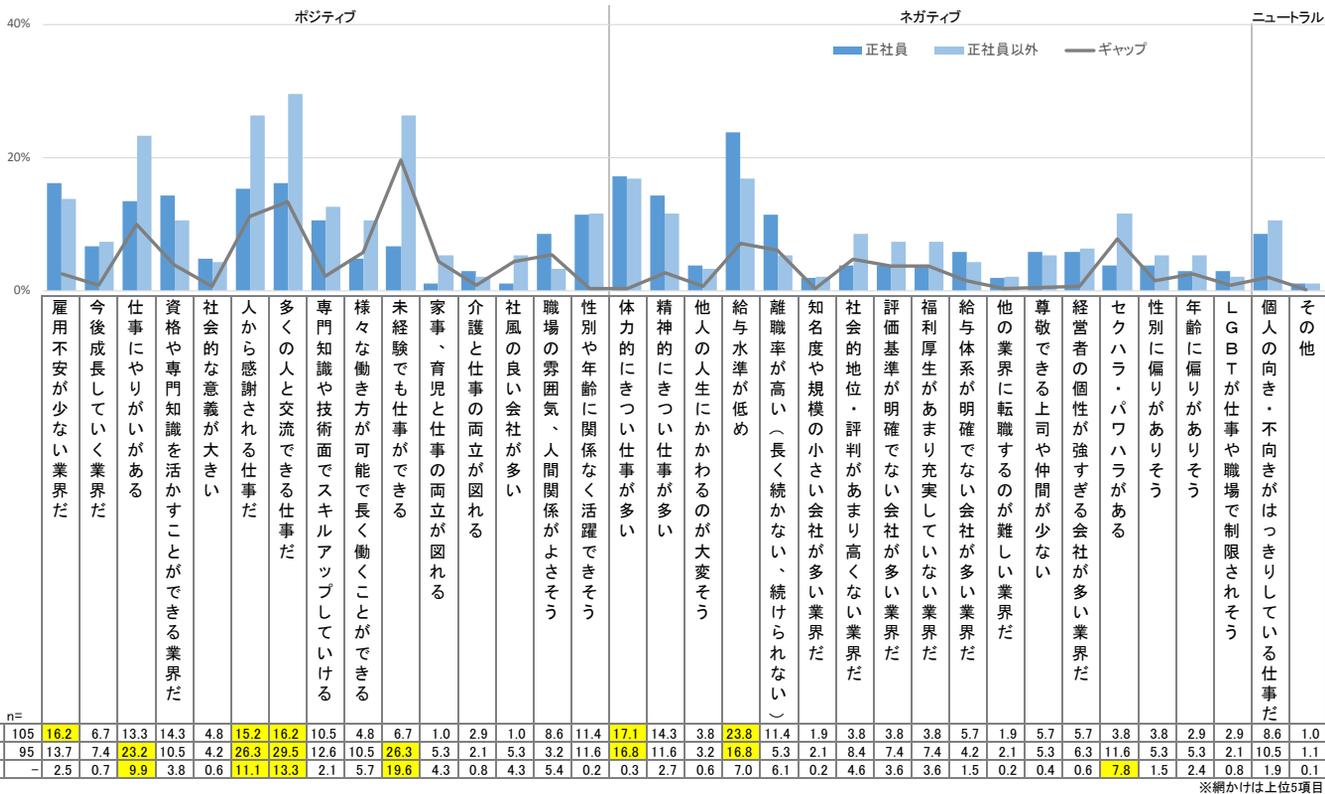


正社員と正社員以外（A. 就業者）

正社員と正社員以外に分けてみてみよう。

正社員がもつイメージは、「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」といったネガティブなものが多い。正社員以外では、「多くの人と交流できる仕事だ」「人から感謝される仕事だ」「仕事にやりがいがある」などポジティブなものが多い。

両者のギャップを見ると、「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」「人から感謝される仕事だ」「仕事にやりがいがある」は正社員以外の方が割合が高い。「給与水準が低め」や「体力的にきつい仕事が多い」は正社員でも正社員以外でも割合が高く、今後改善が必要かもしれない。



【A. 就業者】

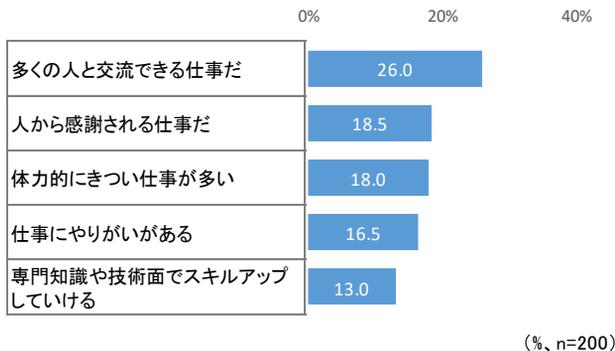
Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／ホテル・旅館の仕事（複数回答）

業界イメージ 3

C. 意向者と D. 非意向者

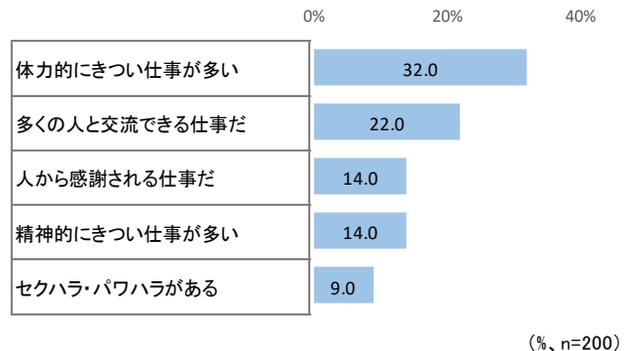
■ C. 意向者の上位5項目

意向者のホテル・旅館に対するイメージは「多くの人と交流できる仕事だ」「人から感謝される仕事」など5項目中4項目がポジティブなイメージ。就業者と共通しているものが多い。



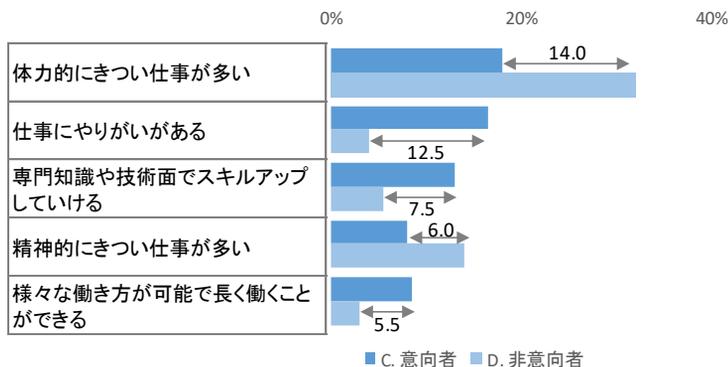
■ D. 非意向者の上位5項目

非意向者にホテル・旅館のイメージを聞くと、「体力的にきつい仕事が多い」「精神的にきつい仕事が多い」などネガティブなものがある一方で「多くの人と交流できる仕事だ」もあがった。



■ C. 意向者と D. 非意向者のギャップが大きい5項目

両者のギャップが大きいものをみると、非意向者は「体力的にきつい仕事が多い」というイメージ、意向者は「仕事にやりがいがある」というイメージをより強くもっていることがわかる。

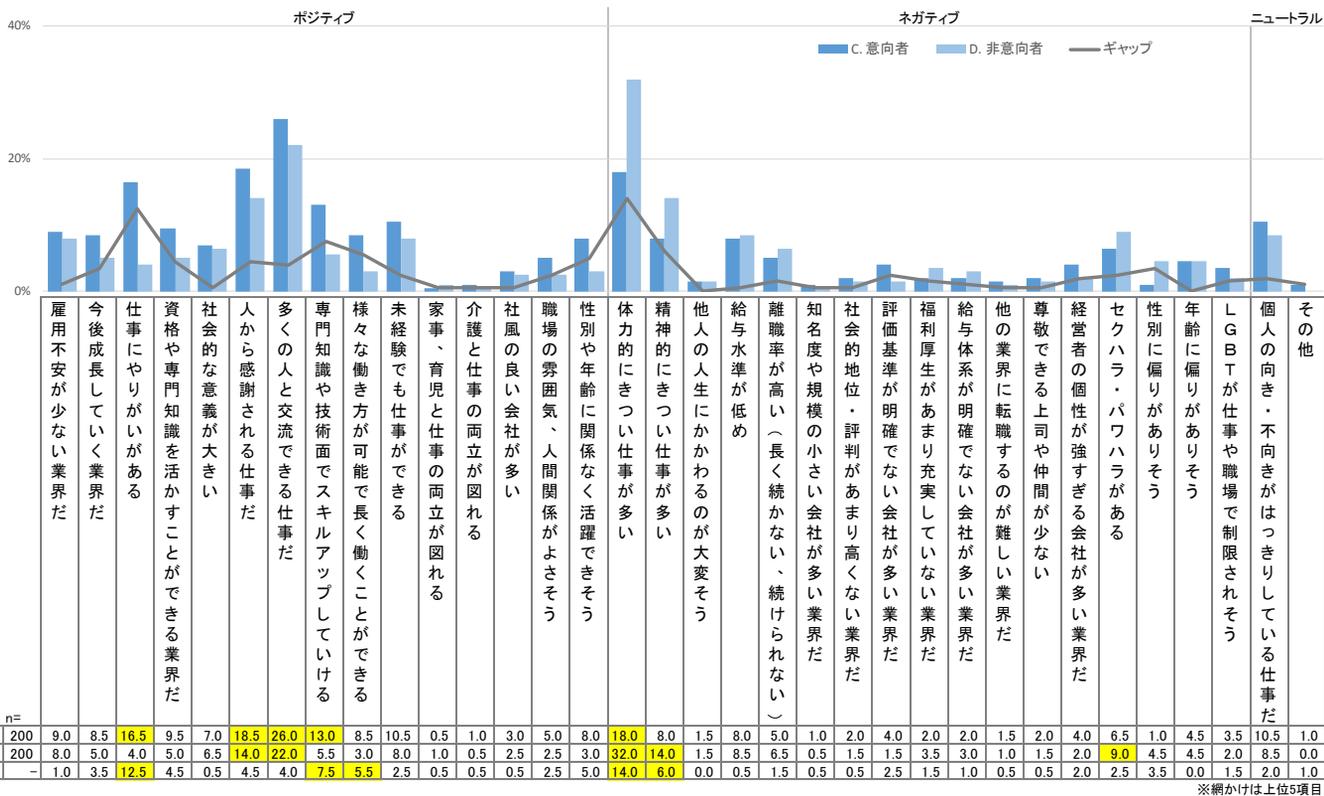


C. 意向者と D. 非意向者

意向者と非意向者に、ホテル・旅館のイメージを聞いた。意向者のホテル・旅館に対するイメージは「多くの人と交流できる仕事だ」「人から感謝される仕事だ」など、ポジティブなイメージの割合が高い。

非意向者は「体力的にきつい仕事が多い」「精神的にきつい仕事が多い」などネガティブなものが上位にあがる一方で、意向者や就業者同様に「多くの人と交流できる仕事だ」や「人から感謝される仕事だ」といったイメージももっている。

両者のギャップが大きいものを見ると、「体力的にきつい仕事が多い」というイメージは非意向者の方が14.0ポイント高く、「仕事にやりがいがある」というイメージは意向者の方が12.5ポイント高い。



【C. 意向者、D. 非意向者】

Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／ホテル・旅館の仕事（複数回答）